



平成 25 年 11 月 5 日

第 24 回 長崎キワニスクラブ例会資料

1. ゴング・・・開会
2. 国歌斉唱
3. 会長挨拶
4. 昼食
5. 第 1 回日本地区役員会報告
 - (1) 2012-2013 事業報告・収支決算報告 資料 P 3～P 9
 - (2) 次々期ガバナー選任について " P10
関西西南ディビジョン(大阪、和歌山、泉州)より選出し次回 5/16 に決定する
 - (3) 第 40 回日本地区年次総会開催について 資料 P11
西宮クラブ 平成 28 年 9 月開催
 - (4) 2013-2014 年度表彰基準について 資料 P12～P16
 - (5) 成長戦略について 資料 P17～P18
日本地区会員数 2,000 名を早期に実現する。(現在 1,711 名)
2018 年 9 月末までに空白県 24 県にクラブを新設する。
九州では、佐賀、宮崎に設立の働きを行っている。
 - (6) 東京・千葉国際大会報告 資料 P19～P20
開催日 7/16(前夜祭) 7/17(8:30 開会式) 7/18 7/19(閉会式)
開会式には来賓として秋篠宮紀子様を予定している。
参加数 3,500 名
アメリカ 1,500 名、ヨーロッパ 500 名、アジア 700 名、日本 800 名
各クラブの会員数(家族含む)の 50%出席の要請があった。
日本の心と文化で大会を盛り上げる。(柔道の山下氏、華道、書道、着付け等)
 - (7) スパウス・プロジェクトについて 資料 P20～P21
各地区 50 枚の子供の絵を集め販売しエリミネイトに寄付する活動で委員長は国際
会長夫人です。
東京・千葉大会で各クラブから集めた 2,000 枚を 20～50 ドルで販売する。
学校などの公共機関にお願いする事は難しいため会員の子供、孫などに依頼する。



また、肖像権についても確認・了承が必要。

絵の作成は、色彩が無いと見劣りする為クレヨン以上で作成が望ましい。

各クラブ 2 枚程度集める。

(8) エリミネイトプロジェクト 資料 P22～P24

①日本地区が 100%クラブ参加を達成(長崎\$1500)

②\$30000 寄付が 3 名になった。(西宮、名古屋、大阪)

③西宮クラブがゴールドクラブになった。

一人当たり\$1000 の寄付を達成

(9) キワニス財団 平成 25 年度事業計画(案) 資料 P25～P28

(10) 新たなクラブ標準規約書式・細則の改定 資料 P28～P32

国際キワニスでは一昨年国際規約改正に伴い各クラブの変更を行うべき検討中であり決定したら当クラブも変更の手続きを行います。

(11) 国際理事選挙について 資料 P33

率候補予定者 前ガバナー 北里 光司郎 氏

(12) 2013-2014 日本地区委員会名簿 資料 P34

(13) 2013-2014 日本地区行事予定 資料 P35

(14) 「一村一品」活動について 資料 P36

6. 九州ディビジョン活動

九州ディビジョンでの合同例会を各クラブ持ち回りで年 1 回開催する。

開催順・・・福岡 ⇒ 熊本 ⇒ 鹿児島 ⇒ 大分 ⇒ 長崎

第 1 回 平成 26 年 2 月 19 日(水) 福岡市博多駅前 都ホテル 12:00～

7. その他

(1) 次回例会

第 25 回例会 平成 25 年 11 月 19 日(火) 12:30～

8. 閉会・・・ゴング

以上



2013-2014 年度第 1 回日本地区役員会

日時：平 25 年 10 月 25 日(金)13:30～

場所：法曹会館 3 階 富士

議事

- I 定足数の確認 (2 分の 1 ルール) 12 名中 11 名出席
- II ガバナー挨拶
- III 審議事項
 1. 2012-2013 年度事業報告書・収支決算書の承認及び監査報告 【資料 B1-1～3】
 2. 次々期ガバナー選任について 【資料 B2】
 3. 第 40 回日本地区年次総会開催地について 【資料 B3】
- IV 報告事項
 1. 2013-2014 年度の表彰基準について 【資料 B4-1～5】
 2. 成長戦略について 【資料 B5】
 3. 東京・千葉大会ホスト・コミティーからの報告 【資料 B6-1～2】
 4. スパウス・プロジェクトについての報告 【資料 B7】
 5. エリミネイト・プロジェクトの報告 【資料 B8-1～2】
 6. KJF からの報告 【資料 B9】
 7. 規約委員会からの報告 【資料 B10】
 8. 国際理事選挙のためのタスク・フォースの設置について 【資料 B11】
 9. 2013-2014 年度日本地区委員会メンバーの報告 【資料 B12】
 10. 2013-2014 年度カレンダー 【資料 B13】
- V フォーラム・研修
 1. 今年度のリーダー研修の方針 【資料 F1】
 2. 成長戦略への取り組み 【資料 F2】
 3. 一村一品活動およびスパウス・プロジェクトについて 【資料 F3, B7】
 4. 東京・千葉大会の運営について 【資料 B6-1～2】
 5. その他

2013-2014第1回日本地区役員会出席者一覧

<2013-2014国際キワニス日本地区役員>

1	ガバナー	横浜	小川 恵三	東商エクスプレス(株) 社長
2	次期ガバナー	東京	堀井 紀壬子	(一社)セルフ・エスティム研究所 代表理事
3	前ガバナー	東京	北里 光司郎	(株)シナジー 代表取締役会長
4	副ガバナー(ディビジョン1(東京))	東京	藤原 武平太	互助会保証(株) 顧問
5	副ガバナー(ディビジョン2(中部))	名古屋	川村 保憲	愛知日野自動車(株) 代表取締役社長
6	副ガバナー(ディビジョン3(関西))	大阪	矢野 隆司	大成機工 副会長
7	副ガバナー(ディビジョン4(中国・四国))	広島	神出 亨	中電工 社長
8	副ガバナー(ディビジョン5(関西))	西宮	安原 裕	富士紡ホールディングス(株) 社友
9	副ガバナー(ディビジョン7(関東))	横浜	中村 満	横浜ビル建材 会長
10	副ガバナー(ディビジョン8(九州))	熊本	早川 典宏	(資)ハヤカワスポーツ代表取締役会長
11	事務総長/財務担当	東京	石原 正之	(独)国立成育医療研究センター 監事
<オブザーバー>				
12	監事代行	千葉	安井 功人	(株)美治商事 専務取締役
13	公益財団法人キワニス日本財団理事長	西宮	小池 和子	栄和興産(株) 代表取締役会長
14	ASPAC議長	仙台	小田 忠雄	東北大学 名誉教授
15	エリミネイト・プロジェクト地域コーディネーター	東京	横山 太蔵	
16	成長戦略委員長	東京	松見 芳男	伊藤忠商事(株) 理事
17	財務委員長	東京	吉國 眞一	(株)みずほ証券リサーチ&コンサルティング 理事長
18	マーケティング・広報委員長	東京	古屋 俊彦	
19	子ども最優先委員長	横浜	杉田 義朗	共同不動産鑑定システムズ 代表
20	規約委員長	東京	伊藤 康成	三井住友海上火災保険(株) 顧問
21	歴代ガバナー委員長	東京	菅野 明	
22	リーダーシップ研修委員長	東京	吉田 浩二	
23	コネリー賞推薦委員長	泉州	石川 寛	
24	クラブ会長	名古屋	藤岡 旭	中電興業(株) 代表取締役社長
25	クラブ会長	神戸	西川 公一朗	税理士法人 西川オフィス神戸 代表社員
26	クラブ会長代理(副会長)	仙台	我妻 清一	ソフトエイジ 社長
27	クラブ会長	横浜	梅田 嘉明	横浜東邦病院 院長
28	クラブ会長代行	横浜	由井 美恵子	ユー・アイ・シー 社長
29	クラブ会長	高松	香西 薫	香西鉄工所 社長
30	クラブ会長	福岡	百田 篤	百田工務店 社長
31	クラブ会長	京都	白井 太郎	公認会計士 税理士
32	クラブ会長	千葉	鏑木 栄胤	(株)鏑木商会 代表取締役
33	クラブ会長代理(副会長)	新潟	石井 伸行	(株)BSNアイネット 常務取締役
34	クラブ会長	泉州	田中 謙吉	田中土建 代表取締役
35	クラブ会長	埼玉	丸山 晃	埼玉新聞社 相談役
36	クラブ会長	鹿児島	柴尾 圭一	プルデンシャル生命保険(株) 鹿児島支社 支社長
37	クラブ会長	芦屋	笹倉 由紀子	(株)KAY 取締役
38	クラブ会長代理(前会長)	福島	和合 アヤ子	福島県住宅生活協同組合 理事長
39	クラブ会長	大分	竹内 小代美	大分県議会 議員
40	クラブ会長代理(事務局長)	長崎	武富 宏邦	(株)九電工 副支店長兼総務部長
<欠席>				
1	副ガバナー(ディビジョン6(北海道・東北))	仙台	佐藤 嘉昭	ビー・プロ 会長
2	監事	千葉	山村 芳則	鶴沢建設(株) 取締役副社長
3	文化委員長	泉州	三原 淳平	
4	クラブ会長	東京	緒方 謙二郎	
5	クラブ会長	仙台	佐藤 裕雄	北日本電線 相談役
6	クラブ会長	札幌	星野 尚夫	札幌振興公社 代表取締役社長
7	クラブ会長	和歌山	田中 宣人	(株)和歌山印刷所 常務取締役
8	クラブ会長	新潟	星野 明文	富士ゼロックス新潟(株) 代表取締役社長
9	クラブ会長	渋谷	難波 克己	東日商事(株) 代表取締役
10	クラブ会長	福山	飯塚 秀夫	秀倫塾 塾長
11	クラブ会長	熊本	松山 勝幸	(株)ジェイアンドジェイ 代表取締役社長
12	クラブ会長	金沢	大友 佐俊	(株)大友楼 代表取締役社長
13	クラブ会長	松江	景山 文雄	(株)太陽電機製作所 代表取締役社長
14	クラブ会長	福島	上西 皓暲	入三機材(株) 代表取締役
15	クラブ会長	千代田	澤井 敏子	
16	クラブ会長	長崎	大堀 哲	長崎歴史文化博物館 館長
<未回答>				
1	クラブ会長	静岡	海野 育男	静岡医進学院 学院長

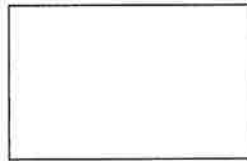
2013-2014 年度第 1 回国際キワニス日本地区役員会席表

日時：2012 年 10 月 25 日（金）13:30～

場所：法曹会館 3 階 富士

中村 副ガバナー・前監事
和合 福島クラブ前会長
我妻 仙台クラブ副会長
笹倉 芦屋クラブ会長
白井 京都クラブ会長
西川 神戸クラブ会長
安原 副ガバナー・西宮クラブ会長
香西 高松クラブ会長
神出 副ガバナー・広島クラブ会長
田中 泉州クラブ会長
矢野 副ガバナー・大阪クラブ会長
石井 新潟クラブ副会長
藤岡 名古屋クラブ会長
川村 副ガバナー
藤原 副ガバナー

堀井 次期ガバナー
石原 事務総長
小川 ガバナー
北里 前ガバナー
吉田 リーダーシップ研修委員長



梅田 横浜クラブ会長
由井 横浜クラブ会長代行
鏑木 千葉クラブ会長
丸山 埼玉クラブ会長
早川 副ガバナー

百田 福岡クラブ会長
柴尾 鹿児島クラブ会長
竹内 大分クラブ会長
武富 長崎クラブ事務局長
石川 コネリー賞推薦委員長
菅野 歴代ガバナー委員長
伊藤 規約委員長
杉田 YCPO 委員長
古屋 マーケティング・広報委員長
吉國 財務委員長
松見 成長戦略委員長
横山 エリミネイトP地域コーディネーター
小田 ASPLAC 議長
小池 キワニス日本財団理事長
安井 監事代行

(アミカケは地区役員)

入口



2012-2013 年度国際キワニス日本地区事業報告
(2012/10/1~2013/9/30)

1. 会員増強とクラブ新設

- (1) 会員数 (目標: 年間 5%以上の純増 (小規模クラブはチャーターメンバー確保))

2012/9/30 : 1,693 → 2013/9/30 : 1,711 (1%増) 1703 → 国際登録

- (2) クラブ新設 (目標: 2 クラブ純増) : 0

- (3) クラブ・サテライト新設

2012/11/1 別府キワニス・サテライト・クラブ (15 名、大分クラブ)

2. 国際キワニスとの連携と協力

- (1) エリミネイト・プロジェクトへの協力

2012/12/8 ブレッジを合わせ、世界で最初に初期目標額 (\$783,394) 達成

2013/6 国際キワニスバンクーバー大会にて”Governor of the Year”賞受賞
メジャー・ドナー 2 名

2013/5/24 八木良三会員 (西宮クラブ)

2013/8/12 堀籠登喜雄会員 (名古屋クラブ)

2013/9/3 西宮クラブがゴールド・クラブ (会員一人当たり \$1,000) 達成

2013/9/16 現在 会員一人当たりの寄付額が世界一 (\$602.98)

2013/9/26 100%クラブ参加達成 (全世界で 3 番目)

2013/9/30 支払い済み金額 \$484,705.35

ブレッジ込み金額 \$993,442.91

- (2) 国際会議への積極的参加

- ① ASPAC 広島大会 (参加実総数: 755)

(参加目標: 全クラブ、400 人) 実績: 28 クラブ、335 人

- ② 国際キワニス年次総会バンクーバー大会 (参加実総数: 約 4,000)

(参加目標: 7 クラブ、30 人) 実績: 8 クラブ、44 人

- ③ 国際キワニス ASPAC 研修会 (於 広島)

5 名参加 (次期ガバナー、事務総長他)

(3) KIF への資金協力

- ① ヒクソフェロー、ダイヤモンドフェロー
(目標 10 名) 実績 : 33 名 (うち 10 口 1 名、5 口 1 名)
- ② アニュアル・クラブ・ギフト・キャンペーン
(目標 : 地区全体で 2 万ドル以上の拠出) 実績 : ¥1,810,500
- ③ その他
ファウンダーズ・サークル 2 名

(4) 国際理事選挙への注力

清重候補の英語・台湾語の選挙チラシ、選挙用ハッピー(選挙用顔写真ワッペン付き)、選挙用グッズ(選挙ピラ入りディッシュ、候補者名入タオル)、を準備し大会当日関係者で参加者に投票依頼、熊本ナイトを開催し支持者、支持者候補を中心に票固め、これに先立ちデレゲートに 2 回に渡りメール等で投票依頼。結果善戦するも残念ながら 5 票差で相手候補フィリピン・ルソン地区のポリ・ラット氏に惜敗。

3. 奉仕活動プロジェクトの推進

- (1) 東日本大震災救援復興支援 : 今年度 ¥133,068 (累計 ¥38,944,499)
- (2) キワニス・ドールの普及活動
2012/10/1-2013/9/30 寄贈数 : 6,302 個、延べ 219 箇所
(前年同期実績 : 6,702 個、延べ 251 箇所)
- (3) 児童虐待防止活動
各クラブでオレンジリボン運動に参加
- (4) キワニス・ワン・デーの実施 : 20 クラブ
震災で被災した子どもたちのためのチャリティー音楽会開催(関西北ディビジョン)、キワニス・ドール作成など
- (5) 各クラブの優れた奉仕活動の紹介、普及
フェイスブックで情報の共有、交換
- (6) 学生や若者のボランティア活動の支援、組織化
ユース・フォーラム立ち上げ(東京クラブ)

4. キワニス日本財団(KJF)と連携した公益事業の推進

(1) 災害義捐金

送金日	内容	金額	
2012/11/7	九州北部豪雨	¥665,280	
2013/3/22	ハリケーン「サンディ」	¥657,000	
2013/7/18	オクラホマ竜巻	¥712,000	¥749,000
2013/8/12		¥24,000	
(未送金)		¥13,000	

(2) クラブ・プロジェクトへの資金助成

クラブ	プロジェクト	金額
東京	第5回キワニスドールシンポジウムの開催	¥200,000
	青少年教育分野での社会貢献	¥300,000
広島	ASPAC 広島大会 エリミネイト・プロジェクト・フォーラム 市民公開講演会	¥300,000
横浜	映画「うまれる」自主上映会実施	¥300,000
和歌山	福島県内の原発事故被災児童を和歌山県に招き、 安心して自然と触れ合ってもらう	¥300,000
福山	キワニスクラブ杯少年少女親善球技大会の開催	¥200,000

(3) 一般公募による公益活動への資金助成

① 国内

推薦者	活動内容	金額
大阪クラブ	大阪こども青少年局子育て支援部 オレンジリボンキャンペーンの ジャンパー制作	¥150,000
西宮クラブ	チャイルドケモハウス 小児がんの子どもの家族のための活動	¥300,000
上智大学	被災地子育て支援団体能力向上プロジェクト	¥150,000

② 海外

推薦者	活動内容	金額
千代田クラブ	東チモールの山間地域・アラステヘンでの 農村の経済的自立支援	¥250,000
JEN	アフガニスタンの学校に 環境整備及び衛生教育事業の実施	¥250,000
JETRO	カンボジアの孤児や貧しい子どもたちの支援 (前年からの継続)	¥200,000
	スリランカの障害時サポートの支援 (前年からの継続)	¥200,000

(4) 「日本キワニス文化賞」および「英雄的自己犠牲賞」の贈呈

- ① 日本キワニス文化賞：市山七十世氏（日本舞踊）
いちやまな そよ
- ② 英雄的自己犠牲賞：鎌田光雄氏（火災現場からの人命救助）
かまたみつお

(5) KJF 運営協力金の寄付推進

(27 クラブより¥2,252,000)

5. 委員会の一層活用

(1) クラブ新設委員会

- ディビジョン会議（東京、九州、北海道・東北、関東で実施）、
- 副ガバナー会議開催（2回、クラブ新設3か年計画、エリミネイト推進がテーマ）

(2) 青少年教育委員会

日本型 SLP 推進方法の検討

(3) マーケティング・広報委員会

- 地区パンフレット改訂
- キワニス・ワン・デーTシャツ作成
- ホームページ改造

(4) リーダーシップ研修委員会（2回実施）

(5) 規約委員会

国際規約改定に伴うクラブ標準規約の検討と来年9月までの改定準備

6. 各種表彰制度の定着

昨年と原則同一の地区表彰制度を継続、国際本部基準についても別途鋭意目標達成について各クラブを督励

以上

収 支 計 算 書 (案)
平成24年10月1日から平成25年9月30日まで

国際キワニス日本地区		(単位: 円)		
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
【経常収入の部】				
会費収入	16,280,000	16,415,000	135,000	
協力金収入	1,070,000	1,140,500	70,500	
雑収入	30,000	42,076	12,076	
経常収入合計	17,380,000	17,597,576	217,576	
【経常支出の部】				
事業費	7,510,000	6,979,482	-530,518	
表彰費	100,000	5,250	-94,750	
通信運搬費	200,000	239,440	39,440	
印刷製本費	1,660,000	1,783,324	123,324	
総会開催地区負担金	800,000	800,000	0	
国際関係費	850,000	558,789	-291,211	
委員会活動費	1,100,000	856,356	-243,644	
OA関連費	600,000	536,323	-63,677	
日本文化賞助成	700,000	700,000	0	
KJF プロジェクト支援	1,500,000	1,500,000	0	
管理費	9,880,000	9,605,535	-274,465	
人件費	4,200,000	4,054,808	-145,192	
会議費	350,000	287,127	-62,873	
旅費交通費	3,060,000	2,752,247	-307,753	
家賃・共益費	2,100,000	1,948,455	-151,545	
その他雑費	170,000	202,201	32,201	
雑費	0	360,697	360,697	グッズほか 立貯金
経常支出合計	17,390,000	16,585,017	-804,983	
経常収支差額	-10,000	1,012,559	1,022,559	
【その他資金収入の部】				
ASPAC開催準備金取り崩し	8,000,000	8,000,000	0	
支援等準備預金取り崩し	0	283,000	283,000	預金
その他資金収入合計	8,000,000	8,283,000	283,000	
【その他資金支出の部】				
ASPAC開催準備金支出	8,000,000	8,000,000	0	
予備費	500,000	0	-500,000	
その他資金支出合計	8,500,000	8,000,000	-500,000	
当期収支差額	-510,000	1,295,559	1,805,559	
前期繰越収支差額	2,398,229	2,398,229	0	
次期繰越収支差額	1,888,229	3,693,788	1,805,559	

貸 借 対 照 表 (案)
平成25年9月30日現在

国際キワニス日本地区		(単位: 円)	
科 目	金 額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	3,450,138		
現金	9,816		
普通預金	3,440,322		
貯蔵品	99,304		
前払金	141,750		
立替金	17,846		
流動資産合計		3,709,038	
資産合計			3,709,038
【負債の部】			
流動負債			
未払金	5,250		
仮受金	10,000		
流動負債合計		15,250	
固定負債			
ASPAC開催準備金	0		
固形資産合計		0	
負債合計			15,250
【正味財産の部】			
正味財産			3,693,788
(うち当期正味財産増加額)			(1,012,559)
負債及び正味財産合計			3,709,038

正味財産増減計算書(案)
平成24年10月1日から平成25年9月30日まで

国際キワニス日本地区		(単位: 円)	
科 目	金 額		
【増加原因の部】			
会費収入			16,415,000
協力金収入			1,140,500
雑収入			42,076
合計			17,597,576
【減少原因の部】			
事業費			
表彰費		5,250	
総会開催地区負担金		800,000	
国際関係費		558,789	
委員会活動費		856,356	
通信運搬費		239,440	
印刷製本費		1,783,324	
OA関連費		536,323	
日本文化賞助成		700,000	
KJFプロジェクト支援		1,500,000	6,979,482
管理費			
人件費		4,054,808	
会議費		287,127	
旅費交通費		2,752,247	
家賃・共益費		1,948,455	
その他雑費		202,201	
雑費		360,697	9,605,535
合計			16,585,017
当期正味財産増加額			1,012,559
前期繰越正味財産額			2,681,229
期末正味財産合計額			3,693,788

財産目録(案)
平成25年9月30日現在

国際キワニス日本地区		(単位: 円)	
科 目	金 額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	3,450,138		
現金 現金手許有高	9,816		
普通預金	3,440,322		
みずほ銀行	2,411,478		
三菱東京UFJ銀行	961,529		
郵便貯金	67,315		
貯蔵品	99,304		
前払金	141,750		
立替金	17,846		
流動資産合計		3,709,038	
固定資産			
その他の固定資産			
支援等準備預金	0		
その他の固定資産合計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			3,709,038
【負債の部】			
流動負債			
未払金	5,250		
仮受金	10,000		
流動負債合計		15,250	
固定負債			
ASPAC開催準備金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			15,250
正味財産			3,693,788

平成25年10月21日

国際キワニス日本地区

ガバナー 小川 恵三 殿

監 事

中 村 謙

私監事は、平成25年10月21日に平成25年9月期（平成24年10月1日より平成25年9月30日まで）の会計監査を行い、事務総長及び事務局担当者から報告を求めると共に、一般に認められた監査手続きを実施いたしました。

その結果、事業報告書、貸借対照表、収支計算書及び財産目録は、国際キワニス日本地区規約に従い、同地区の事業の実施状況並びに財産及び収支の状況を正しく示しているものと認められました。

以 上

【資料B2】

次次期ガバナーの選任について

2004年10月29日
2005年10月21日 改定

- ①選任時期: 5月末に国際キワニスに次次期ガバナー候補者を報告しなければならない。
従って、5月中に役員会推薦候補を決定しなければならない。(5月役員会)
- ②選任方法: ・選挙: 第48条
・推挙: 立候補者がいない場合、東京と他のディビジョンの交代制
(他のディビジョンの順番は、ディビジョンの番号順)

歴代ガバナー一覧

	ガバナー	クラブ	ディビジョン
1977-1978	鹿内信隆	東京	1(東京)
1978-1979	鹿内信隆	東京	1(東京)
1979-1980	北裏喜一郎	東京	1(東京)
1980-1981	水島広雄	東京	1(東京)
1981-1982	中山恒明	東京	1(東京)
1982-1983	岩田武夫	東京	1(東京)
1983-1984	杉浦敏介	東京	1(東京)
1984-1985	大堀 弘	東京	1(東京)
	代行 永井邦夫	東京	1(東京)
1985-1986	藤田一暁	東京	1(東京)
1986-1987	泉 美之松	東京	1(東京)
1987-1988	安藤 蕃	東京	1(東京)
1988-1989	上田英雄	東京	1(東京)
1989-1990	片桐良雄	東京	1(東京)
1990-1991	上田隆介	東京	1(東京)
1991-1992	安部 英	東京	1(東京)
1992-1993	木戸孝彦	東京	1(東京)
1993-1994	重崎伸矩	東京	1(東京)
1994-1995	安藤良夫	東京	1(東京)
1995-1996	井上丈太郎	名古屋	2(中部)
1996-1997	赤澤璋一	東京	1(東京)
1997-1998	金森茂一郎	大阪	3(関西)
1998-1999	高橋弘篤	東京	1(東京)
1999-2000	徳永幸雄	広島	4(中国・四国)
2000-2001	関口欽也	東京	1(東京)
2001-2002	佐藤満秋	東京	1(東京)
2002-2003	小嶋 直	神戸	5(関西)
2003-2004	木村太郎	東京	1(東京)
2004-2005	小田忠雄	仙台	6(北海道・東北)
2005-2006	中田一男	東京	1(東京)
2006-2007	菅野 明	東京	1(東京)
2007-2008	清重尚弘	熊本	8(九州)
2008-2009	大堀太千男	東京	1(東京)
2009-2010	小池和子	西宮	5(関西)
2010-2011	川崎 弘	東京	1(東京)
2011-2012	齋藤 薊	名古屋	2(中部)
2012-2013	北里 光司郎	東京	1(東京)
2013-2014	小川 恵三	横浜	7(関東)
2014-2015	堀井 紀壬子	東京	1(東京)

関西南ディビジョン(大阪、和歌山、奈良)

クラブ別地区大会開催記録

クラブ	設立日	会員数 2013/9/30	1巡目		2巡目		3巡目	
			回数	開催日	回数	開催日	回数	開催日
東京	1964/1/24	219	1	1977/9/13 (1981/4/5-8) (ASPAC大会)	12	1988/9/30	25	2001/9/6
名古屋	1966/6/3	138	3	1979/10/16	13	1989/9/7		(2004/3/11-13) (ASPAC大会)
大阪	1967/6/27	71	4	1980/10/6	14	1990/9/14 (1995/4/20-22) (ASPAC大会)	27	2003/9/12
広島	1970/6/4	71	6	1982/9/24	15	1991/9/13	26	2002/9/13 (2013/3/7-9) (ASPAC大会)
神戸	1970/10/15	58	5	1981/9/2	16	1992/9/4	28	2004/9/10
仙台	1971/6/23	63	7	1983/9/22	17	1993/9/7	29	2005/9/9
札幌	1973/6/30	57	2	1978/9/15	18	1994/9/9	30	2006/9/1
横浜	1974/2/20	58	8	1984/9/26	19	1995/9/13	31	2007/9/7
高松	1975/8/30	103	9	1985/9/27	20	1996/9/13	32	2008/9/5
福岡	1976/4/7	76	10	1986/9/20	21	1997/9/12	33	2009/9/11
京都	1980/7/11	29	11	1987/9/25	22	1998/9/11	34	2010/9/3
千葉	1982/12/15	31			23	1999/9/10	35	2011/9/9
和歌山	1993/1/28	49			24	2000/9/8	36	2012/9/7
新潟	1997/7/4	22					37	2013/9/6 H25
泉州	1999/7/9	38					38	2014/9/5 H26
埼玉	2000/9/18	63					39	2015/9/4 H27
西宮	2001/11/19	79						H28
渋谷	2002/3/29	6						
福山	2002/4/27	15						
熊本	2002/8/30	150						
静岡	2004/2/24	39						
金沢	2006/7/20	55						
松江	2006/9/26	28						
鹿児島	2006/12/21	29						
芦屋	2007/11/9	27						
福島	2008/4/24	28						
大分	2008/8/5	50						
千代田	2010/7/26	29						
長崎	2012/9/4	30						
合計		1,711						

【資料 B4-1】

2013-2014 年度
国際キワニス優秀賞及び日本地区優秀賞
表彰基準及び評価手続き

平成 25 年 10 月 25 日
国際キワニス日本地区

日本地区の優秀賞の表彰基準及び評価方法は、先に示された国際キワニスの基準に概ね沿う形で、下記の通りといたします。

ご理解の上、宜しく運営方お願い申し上げます。

記

	日本地区	国際
対象期間	2013/8/1～2014/7/31	2013/10/1～2014/9/30
申請期限	2014/8/5	2014/9/30

いずれも添付の評価シートに必要事項を記入し、日本地区事務局に提出してください。

以上

2013-2014日本地区表彰用クラブ評価シート
 (対象期間:2013/8/1~2014/7/31、提出期限:2013/8/5)

申請クラブ: クラブ名
 会長名

項目	日本地区基準	該当	参考データ
会員増強	年度内に会員数を純増させる (有資格となるには15名以上であること)		日本地区登録会員数: 2013/7/31 2014/7/31 純増 0
クラブ新設	新しいキワニス・クラブ/クラブ・サテライトの スポンサー/共同スポンサーになる		スポンサーしたキワニス・クラブ/クラブ・サテライト名:
増強	クラブ役員がクラブ・リーダーシップ研修を受けるとともに、		フォーラム・研修へのクラブ役員の出席: 新潟大会: 第1回役員会: 第2回役員会:
研修			
総会出席	すべての新入会員にオリエンテーションを行う 地区年次総会に出席しており、かつ ASPAC/国際年次総会に半数以上の会員(ゲストを含む)が出席する		オリエンテーション開催日: 新潟大会: 東京・千葉大会:
地元奉仕	地元への奉仕プロジェクトを行い、かつ キワニス・ドールを会員数x2個以上医療機関等に寄贈する		プロジェクト名: 寄贈総数: 具体的に: 絵の応募枚数: 一人当たり: #DIV/0!
世界的奉仕	エリミネイト・プロジェクトに貢献するとともに、 スパウス・プロジェクトに参加する		
奉仕	会員一人当たり、KJFに最低1,500円、KIFに最低1,500円、 合わせて最低3,000円以上の寄付をする (KJFへの寄付:災害義捐金、運営協力金等) (KIFへの寄付:アニュアル・ギフト、エリミネイト、ヒクソン等)		2013/8/1~2014/7/31のKJF/KIFへの寄付総額: 一人当たり: #DIV/0!
特筆事項			

7項目の内5項目達成で優秀クラブ

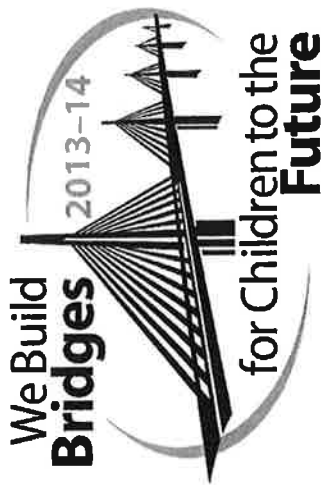
【資料B4-3】

2013-2014日本地区表彰用会員評価シート
 (対象期間:2013/8/1~2014/7/31、提出期限:2014/8/5)

申請者: クラブ名 _____
 氏名 _____

項目	日本地区基準	該当	参考データ
増強	新入会員2名を入会させる		入会させた人数:
総会出席	次の何れか一つに出席する 地区年次総会 ASPAC/国際年次総会		新潟大会: 東京-千葉大会: プロジェクト1: プロジェクト2: 2013/8/1~2014/7/31の寄付: 内容 (〇〇義捐金、ヒクソン等) 金額
奉仕	2つ以上のキワニス・プロジェクトに参加する		
奉仕	KJF/KIFに寄付をする		
特筆事項			

全項目達成で優秀会員

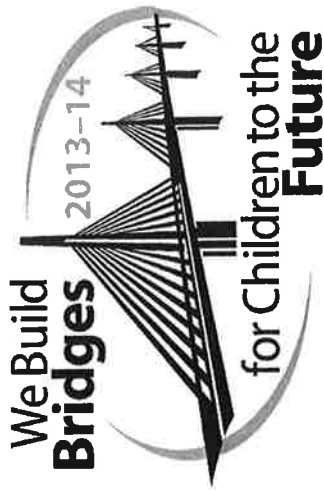


2013-2014国際表彰用クラブ評価シート
 (対象期間: 2013/10/1～2014/9/30、提出期限: 2014/9/30)

申請クラブ: _____ クラブ名 _____
 会長名 _____

項目	国際基準	該当	参考データ		
			国際本部登録会員数:	2013/9/30	2014/9/30
会員増強	会員数の純増(有資格となるには15名以上であること)				0
クラブ新設	新しいキワニス・クラブのスポンサーまたは共同スポンサー		スポンサーしたキワニス・クラブ名:		
増強	研修		フォーラム・研修へのクラブ役員の出欠: 第1回役員会: 第2回役員会: 泉州大会:		
	会議出席		出席者数: 東京・千葉大会: 泉州大会:		
奉仕	地元奉仕		プロジェクト名: 2013/10/1～2014/9/30のKIFへの寄付総額:		
	世界的奉仕		具体的に: 2013/10/1～2014/9/30のKJFへの寄付総額:		
	SLP	Y&P 活動への貢献	0		

7項目中6項目を達成した優秀クラブには、会長ピン、バナー・パッチ、および証書が贈られます。

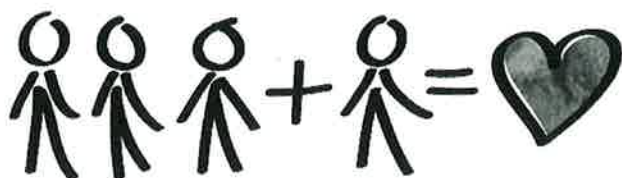


2013-2014国際表彰用会員評価シート
 (対象期間:2013/10/1～2014/9/30、提出期限:2014/9/30)

申請クラブ: _____ クラブ名 _____
 _____ 会員名 _____

国際基準	該当	参考データ
新入会員を2名勧誘		勧誘した会員名(ローマ字で): 1 _____ 2 _____
2つのキワニス奉仕プロジェクトに参加		プロジェクト名: 1 _____ 2 _____
	0	

以上2項目を達成した優秀会員には、
 2013-14国際キワニス会長からのレターと優秀会員ピンが贈られます。



【資料 B5】

2013 年 10 月 25 日
日本地区成長戦略委員長
松見芳男

国際キワニス日本地区成長戦略（案）

1. 基本方針：国際キワニス本部の 2013 - 2018 年 CFG（Campaign for Growth）に呼応し、日本地区としても、成長戦略を重点推進する。

2014 年が、アジア最古のキワニスクラブである東京クラブの創立 50 周年にあたること、また 2014 年には国際キワニス年次総会（ASPAC 大会同時開催）が初めて日本で開催されること等より、日本地区の新しい半世紀とすべく、成長戦略を重点推進する。

但し、会員増強とクラブ新設から成る成長戦略は本来的には手段であり、目的ではない点を認識すること必要。キワニス・ドールやエリミネイト他の、子ども最優先のキワニスクラブ活動を全国に更に広く展開し、一層社会奉仕・貢献をすることが望ましいが、そのためにも会員を増やし、クラブ数を増やすことが重要である。

2. 基本目標：
 - ① 小川新ガバナープランである、日本地区会員数 2,000 名の目標を早期達成する。
 - ② 2018 年 9 月末までに、現会員数 1,711 名を、倍増の 3,400 名とする（新規会員； $1,711 \times 40\%$ 「現会員の 40%が新規会員 1 名獲得の場合」= 684、サテライト会員； $20 \text{ サテライト} \times 10 = 200$ 、新設クラブ会員； $24 \text{ 新クラブ} \times 20 = 480$ 、新規会員数合計 1,364 名→倍増目標の約 90%）
 - ③ 2018 年 9 月末までに、空白県 24 県にクラブを新設し、全都道府県にキワニスクラブを設立する。
3. 2013 - 2014 年度日本地区成長戦略計画：昨年策定され、スタートした、日本地区クラブ 3 カ年計画の履行に努める：
 - (1) 既存クラブの会員増強；
 - ① 15 人以上のクラブ→10%以上または 10 人以上の純増達成
 - ② 15 人未満のクラブ→最低 15 人体制となるよう会員確保（チャーターメンバーの人数確保）

③ 会員数減少の回避

- (2) クラブ新設（会員増強にも貢献）；
ディビジョンごとに目標を設定し、ディビジョンとして最低1クラブの新設を目標とする。少なくとも新設目標2箇所の目途をつける。（3カ年計画合計目標は12県18クラブ）
- (3) クラブサテライト新設（会員増強にも貢献）；
ディビジョンごとに目標を設定し、ディビジョンとして最低1クラブサテライトの新設を目標とする。日本地区は10クラブサテライトの新設を目標とする。

4. 成長戦略の具体的方策：

- (1) 会員増強；
現会員全員が、1名新規会員を獲得する。同時に、会員の退会を可能な限り防ぐべく努力する。
- (2) クラブ新設・クラブサテライト新設（会員増強に貢献）；
会員増強とも連動させ、各ディビジョン・各クラブの現行活動を活用して、新設を実現する（子ども最優先事業協力先のクラブサテライト化、企業内クラブサテライト立ち上げ、クラブ新設のステップとしてのクラブサテライト立ち上げ、女性・家族クラブサテライトの立ち上げ、オンラインクラブ立ち上げ、仕掛かり県でのクラブ新設等）。これらの実現のため、先ずは実現確度の高い案件から取り組み、成功事例を作る。
（仕掛かり県一岩手、山形、福井、富山、群馬、栃木、山梨、岐阜、岡山、佐賀、宮崎――→日本地区3カ年計画にてディビジョン毎に割り振り済み）
（仕掛かり無し―青森、秋田、茨城、長野、滋賀、奈良、三重、鳥取、山口、愛媛、徳島、高知、沖縄）
- (3) Facebook 利用等 IT 活用による成長戦略実施。
- (4) 成長戦略推進活動費用につき、必要に応じ、国際キワニス本部に資金支援を要請する。

5. 推進体制：

国際キワニス本部や ASPAC の組織的取り組み重視の方針に沿い、下記チームを設置、成長戦略委員長にて連携：

- ① District CFG Team（副ガバナーにて構成）
- ② CFG Coordinator Team（各クラブに2～3年任期の CFG Coordinator を指名し、成長戦略委員長を中心にチームを組成、アクショングループとする）

以上



Kiwanis CONVENTION 2014

あと265日

平成 25 年 10 月 25 日
 ホスト・コミティ委員長
 北里 光司郎

東京・千葉 2014 国際年次総会 ASPAC 合同大会の準備状況について

1. ホスト・コミティの活動

- ・ 第 1 回ホスト・コミティ 平成 25 年 4 月 12 日開催。於法曹会館。16 名出席。
ホスト・コミティの役割について説明し、討議した。
- ・ 第 2 回ホスト・コミティ 平成 25 年 6 月 14 日開催。於法曹会館。30 名出席。
サブ・コミティ体制について説明と討議を行った。
バンクーバー大会での調査項目について討議した。
- ・ 第 3 回ホスト・コミティ 平成 25 年 7 月 11 日開催。於法曹会館。26 名出席。
バンクーバー大会での調査内容の報告と討議。
- ・ 成田国際空港と幕張メッセの視察 平成 25 年 8 月 22 日開催。23 名参加。
- ・ 第 4 回ホスト・コミティ 平成 25 年 9 月 18 日開催。於法曹会館。34 名出席。
国際本部スタッフによる説明と質疑応答。
- ・ 羽田国際空港、国内空港視察。平成 25 年 10 月 10 日。23 名参加。

今後の予定。

- ・ 第 5 回ホスト・コミティ 平成 25 年 10 月 30 日開催予定。於日比谷図書文化館。

2. 基本方針

- 1) 初めての国際年次総会・ASPAC 合同の大会を成功させよう。
- 2) All Japan Kiwanis Club でおもてなしをしよう。
- 3) 日本の心と文化で大会を盛り上げ、思い出深い大会にしよう。 茅道 山下氏
花 希道 著氏

3. お願いの事項

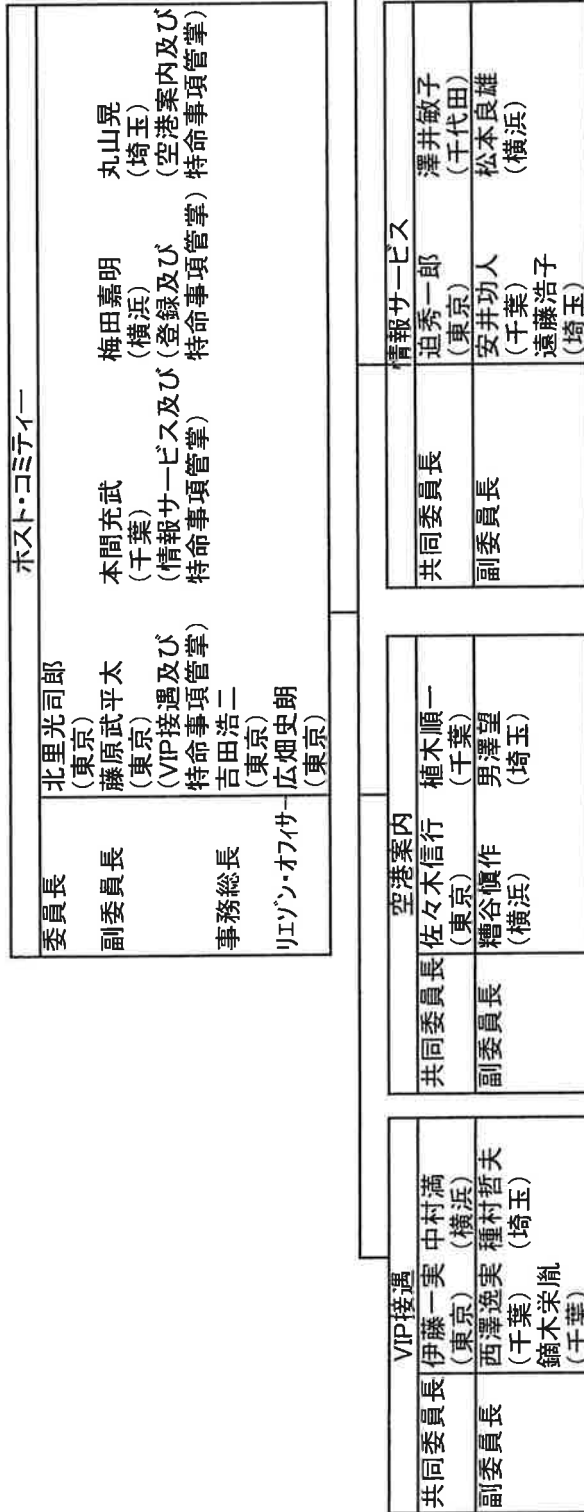
- 1) 大会への積極的な参加をお願いしたい。
① 日本地区各クラブから、それぞれ 50%以上の参加者を出していただきたい。 3500名
- 2) ディビジョン毎のブースへの展示。日本地区 8 ディビジョンで、ブースに地方の
特色、活動を示した展示を行って会場を盛り上げていただきたい。 米 1500
ヨ 500
ア 700
日 800
- 3) ボランティアへの参加。
各クラブから、開催日当日にボランティアとして参加していただきたい。
空港案内、VIP 接遇、登録、情報サービス、会場案内等。
- 4) 各クラブに於いて東京・千葉 2014 大会委員を決めて日本地区及びホスト・コミティとの連絡役を務めていただきたい。

以上

7/16 17. 18. 19
 前夜祭(受付)
 8/30 開会式

19

2014国際キワニス年次総会東京-千葉大会 ホスト・コミュニティ組織図





国際キワニスのスパウス・プロジェクト
(チャリティ) について

- 発案者：Gunter Gasser 会長
プロジェクト委員長：Cristiana 夫人
- チャリティの趣旨
 - ー 各地区が最低 50 枚の子ども達の絵を集める (全体目標 2,000 枚)
 - ー 東京・千葉大会で 1 枚 20～50 ドルで販売し、売上 (4 万ドル～10 万ドル) はエリミネイト・プロジェクトに寄付
- 日本地区の具体的手順 (案)
 1. 各クラブは最低 2 枚の絵を集める。日本地区で最低 58 枚集まる。
 2. 各クラブは学校、幼稚園等呼びかける。絵の選別は各クラブ・リーダーが行う。
 3. 絵のモチーフ：キワニスクラブは「私達は子ども達の未来への橋を架ける」という奉仕活動をしているが、「未来に架ける橋」と聞いて子ども達は何を想い浮かべるか、その想いを絵にしてもらう。
 4. 絵のサイズ：A4 サイズ (29.7 cm×21 cm)。
絵の素材：何でもよい。絵具、鉛筆、フェルト・ペン、クレヨン、インクいずれも OK。
鉛筆 フェルト・ペン → 適さない
 5. 作者の名前、年齢、学校のタイプを裏面に明記の上、2014年3月7日(金)までに日本地区事務局へ送る (必着)。日本地区で年齢、学校のタイプなどに応じて分類の上、国際キワニス事務局に送付 (3 月中)。
- 国際キワニスの手順
 1. 国際キワニス紙製の額をつけて東京・千葉大会で販売する。
 2. 絵はカレンダー、パンフレット、カードなどに使うことができる。

以上

ELIMINATE

maternal/neonatal tetanus



平成 25 年 10 月 25 日
エリミネイト・プロジェクト
日本地区コーディネーター
北里 光司郎

エリミネイト・プロジェクト進捗状況報告

1. 最近のニュース

1) 日本地区が 100%クラブ参加を達成しました。

9 月末に渋谷クラブ、福山クラブよりのエリミネイト・プロジェクトへの寄付が行われたことにより、日本地区は 100%クラブ参加を達成しました。これは、北米の New Jersey 地区、Capital 地区に次いで 3 番目であり、北米地域を除けば、初めての快挙です。ランディ・ディレイ・エリミネイト・プロジェクト推進委員長から、お祝いのメッセージが全世界に送られ、世界各地のリーダーからお祝いのメッセージが寄せられています。「参加の年」に 100%クラブ参加を達成できたことは、大変良かったと思っています。日本地区各クラブの皆様のご努力に感謝します。

2) Major Gift Donor (大口寄付者) が 3 名になりました。

先日の新潟大会で表彰されました西宮クラブの八木良三会員、名古屋クラブの堀籠登喜雄会員に加えて、このほど大阪クラブの矢野隆司会員から、3 万ドルの大口寄付をいただくことになりました。これで、日本地区からの Major Gift Donor は 3 名になりました。皆様方のご芳志に心より感謝いたします。

3) 西宮クラブがゴールド・クラブになりました。

西宮クラブは 6 月にモデルクラブを達成しましたが、このたび更にその上のゴールド・クラブ (一人当たり \$1,000 の寄付) も達成しました。

4) 日本地区は、会員 1 人当たりの寄付額で、世界で NO.1 を続けています。

今年 6 月のバンクーバー大会で、日本地区は会員一人当たりの寄付額で世界 1 位ということで、表彰を受けましたが、その地位を今でも続けています。

	地区	会員 一人 当たり	寄付+ プレッジ	モデル・ クラブ	100K クラブ	メジャー・ ギフト	ゼラー
1	日本	\$602.98	\$996,130.64	14	2	2	63
2	西部 カナダ	\$552.01	\$580,158.68	15	2	0	56
3	オースト ラリア	\$489.85	\$464,380.37	17	1	0	33

4	マレーシア	\$435.98	\$728,088.73	13	2	2	50
5	南西	\$238.75	\$789,055.27	25	0	1	105
6	ニュー ジャージー	\$231.92	\$522,058.74	4	1	2	63
7	フロリダ	\$202.52	\$1,805,888.15	28	3	7	312
8	アンデス・ 中央アメリカ	\$195.63	\$169,223.93	5	0	0	49
9	カロライナ	\$194.97	\$1,445,316.86	28	3	0	192
10	イタリア・ サンマリノ	\$194.21	\$671,381.46	20	0	0	86

(2013年10月18日付 Dateline 添付資料より)

2. 日本地区各クラブのプレッジ状況

添付別紙を参照して下さい。まだプレッジをしていないクラブは、是非プレッジをご検討下さい。また、シルバークラブからモデルクラブへのアップグレードについても、是非ご検討下さい。

3. 日本地区各クラブの目標額

日本地区各クラブの目標額について添付の表をご参照下さい。プレッジをしていないクラブの目標額は、国際本部で認識されていませんので、括弧つきで表示しており、全体の集計にも反映されません。

4. Worldwide Report Day 11月7日(木) 21時

エリミネイト・プロジェクトの Worldwide Report Day が 11月7日(木) に予定されており、日本地区はいつものように、世界のトップバッターとして、21時に Randy Delay エリミネイト・プロジェクト推進委員長に北里コーディネーターが10分間の報告をします。

5. 次の目標は、寄付額\$1Mを突破し、「実績の年」の成果を上げること

日本地区からの寄付総額は、9月26日現在で、\$993,442.91で、後約\$7,000(70万円)で\$1Mを突破することが出来ます。2014年は「実績の年」です。日本地区は寄付額\$1Mグループに入って、「実績の年」にエリミネイト・プロジェクトの分野で本当に役に立つ実績を残すように地道な努力を続けて行きたいと思っています。そして、来年7月の東京・千葉2014で更に大きな成果をお祝いすることが出来るように頑張ってください。よろしく願いいたします。

以上

ELIMINATE
maternal/neonatal tetanus

日本地区からのプレッジ

クラブ	100K	モデル	シルバー	ブロンズ	クラブ	100K	モデル	シルバー	ブロンズ
東京	★	★			埼玉			★	
名古屋	★				西宮		★		
大阪					渋谷				
広島			★		福山				
神戸				★	熊本		★		
仙台		★			静岡		★		
札幌					金沢		★		
横浜		★			松江		★		
高松		★			鹿児島			★	
福岡		★			芦屋			★	
京都		★			福島			★	
千葉		★			大分			★	
和歌山		★			千代田			★	
新潟					長崎			★	
泉州		★			合計	2	14	8	1

1

ELIMINATE
maternal/neonatal tetanus

日本地区各クラブ別目標金額

クラブ	ベース人数	募金目標額	クラブ	ベース人数	募金目標額
東京	220	\$165,000	埼玉	56	\$28,000
名古屋	139	\$100,000	西宮	61	\$45,750
大阪	69	(\$33,000)	渋谷	6	
広島	69	\$34,500	福山	14	
神戸	60	\$20,650	熊本	74	\$55,500
仙台	57	\$42,750	静岡	35	\$26,250
札幌	59	(\$37,500)	金沢	46	\$34,500
横浜	56	\$42,000	松江	28	\$21,000
高松	98	\$73,500	鹿児島	33	\$16,500
福岡	86	\$64,500	芦屋	23	\$11,500
京都	30	\$22,500	福島	28	\$14,000
千葉	34	\$25,500	大分	24	\$12,000
和歌山	52	\$39,000	千代田	29	\$14,500
新潟	26	(\$19,500)	長崎	30	\$15,000
泉州	47	\$35,250	合計	1,585	\$1,046,650

括弧付きの目標額はプレッジしていない為、国際本部では認知されていない。

2 ベース人数はプレッジ時、または2013/9/30現在のもの

平成 25 年度事業報告書案
(平成 24 年 10 月 1 日~平成 25 年 9 月 30 日)

公益財団法人キワニス日本財団

I. 法人の状況に関する重要な事項

1. 実施事業

(1) 国内公益的事業助成（公①事業）

各地のキワニスクラブが行う事業につき次の 6 件に対し総計 1,600,000 円の助成をした。その財源は KIF が日本に保有する口座から KIF 理事会の承認を得て支出された助成金。

- ① 東京・埼玉各クラブ共催のキワニス・ドール・シンポジウム
- ② 東京クラブの青少年教育分野での社会貢献
- ③ 広島クラブの ASPAC 大会でのエリミネイト・プロジェクト・公開フォーラム
- ④ 横浜クラブの映画「生まれる」の自主上映会
- ⑤ 和歌山クラブの福島原発事故被災児童の自然探訪体験への招待
- ⑥ 福山クラブの子ども球技大会

また、熊本クラブの行なった小学生バトミントン交流大会を特定目的事業として寄付がなされたので同額の助成を行った。

一般公募に係る事業として次の 3 件に対し総計 600,000 円を助成した。その財源は日本地区からの助成金。

- ① 大阪クラブ推薦の大阪市子ども少年局のオレンジリボンキャンペーン用ジャンパーの制作
- ② 西宮クラブ推薦のチャイルドケモハウス事業
- ③ 上智大学岡田教授推薦の震災被災地の子育て支援団体能力向上事業

(2) 文化・芸術の表彰事業（公②事業）

キワニス日本文化賞を国際キワニス日本地区と連名で日本舞踊・市山流の市山七十世^{いちやまなそよ}氏に授与した。財源は日本地区からの助成金。

(3) 災害援助（公③事業）

本年度は米国東部を襲ったサンディ台風被害及び同じく米国中西部のオクラホマを襲ったハリケーン被害につき義援金の募集を行い、その全額合計

1,393,000 円を KIF 及びオクラホマ・キワニスクラブへ送金した。なお、前年度に募金した九州北部豪雨災害義援金については決算上は前年度に計上されているが、実際の現地への支払いは本年度に行われた。

(4) 英雄的自己犠牲行為の表彰 (公④事業)

KIF コネリー賞を受賞された鎌田^{かまたみつお}光男氏 (新潟市 火災時の火元者救出) を KJF としても表彰した。財源は日本地区からの助成金。

(5) 海外に於ける公益的事業助成(公⑤事業)

海外に於ける公益的事業に対する助成としては次の 4 件総計 900,000 円の助成を行った。財源は日本地区からの助成金。

- ① 東チモールにおける農村の経済的自立支援 (千代田キワニスクラブ推薦)
- ② アフガニスタンにおける学校教育環境整備 (JEN)
- ③ カンボジアにおける貧困児童援助(JETRO 現地事務所)
- ④ スリランカにおける障害児支援(JETRO 現地事務所)

(6) 世界の子どもたちに奉仕する事業への助成 (公⑥事業)

① アニュアル・クラブ・ギフト・キャンペーン ④ 1500

KIF の呼びかけに応じ、各クラブにアニュアル・クラブ・ギフト・キャンペーン (KIF が主導して行っている KIF の公益的事業への資金助成の財源を作るための世界的な募金活動) への参加を呼びかけ総額 1,810,500 円の募金ができ、KIF の日本口座に振り込んだ。この口座の資金は KIF との協定により KIF 理事会の承認を得て日本国内の子どものための奉仕活動に使うことが出来るものである。本年度は上記(1)国内公益的事業への助成事業の財源として活用している。

② エリミネイト・キャンペーン

国際キワニスが世界的に展開している妊産婦新生児破傷風撲滅のための募金活動であるが、

KJF がその募金を行っている日本地区では 3 年目の今年度においては最終目標をオーバーする寄付及びプレッジの実績を挙げている。本年度のキャッシュベースの送金実績は 28,658,279 円となった。(これまでの累積は 42,153,151 円) この資金は最終的には UNICEF へ寄贈され、妊産婦新生児破傷風撲滅活動の資金となるものである。

2. 組織関係

(1) 定款の改正

- ① 定款第 31 条に 2 項を加え、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条第 1 項の規定に基づき書面又はメールによる議決を行うことができるようにした。(平成 24 年 12 月 26 日)
- ② 定款第 37 条を改め公告の方法を事務所掲示で出来るようにした。(前項と同日付)
- ③ 定款別表第一の基本財産の額等を改めた。(平成 25 年 6 月 19 日)

(2) 評議員の異動

評議員の任期満了に伴い、平成 24 年 11 月 16 日(金)開催の評議員選定委員会において次の各氏が評議員に選任された。

木村太郎(東京キワニスクラブ)
深山靖(名古屋キワニスクラブ)
前田泰道(和歌山キワニスクラブ)
有岡隆(高松キワニスクラブ)
西川公一朗(神戸キワニスクラブ)
吉田民憲(福島キワニスクラブ)
由井美恵子(横浜キワニスクラブ)
長門博之(福岡キワニスクラブ)

(3) 理事の異動

理事及び監事の任期満了に伴い、平成 24 年 11 月 19 日(月)開催の定時評議員会において次の各氏がそれぞれ理事または監事に選任された。

理事 横山太蔵(東京キワニスクラブ)
理事 吉江誠(東京キワニスクラブ)
理事 野嶋孝(名古屋キワニスクラブ)
理事 眞鍋民雄(高松キワニスクラブ)
理事 山口毅(福岡キワニスクラブ)
理事 小池和子(西宮キワニスクラブ)
理事 米澤房朝(熊本キワニスクラブ)
監事 酒井富雄(東京キワニスクラブ)
監事 中村雅文(名古屋キワニスクラブ)

なお、中村雅文監事は病気療養のため辞任の申し出があり、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条第 1 項の規定に基づく「決議の省略」

手続きにより伊藤哲氏が後任の監事に選任された。

(4) 理事長等の選任

平成 24 年 12 月 6 日（木）開催の理事会において下記の選任が行われた。

理事長 小池和子

業務執行理事〔事務局長（含む事業・寄付）〕 横山太蔵

業務執行理事（財務・会計担当） 吉江誠

(5) 会議の開催

主たる会議の開催状況は次の通りである。

① 評議員会

定時評議員会 平成 24 年 11 月 19 日（月）

臨時評議員会 平成 24 年 12 月 6 日（木）

この他、「決議の省略」手続きによる議決が平成 24 年 12 月 26 日（理事会の「決議の省略」手続きによる議決の導入及び公告方法の変更のための定款の一部改正）、平成 25 年 5 月 31 日（伊藤監事の選任）および平成 25 年 6 月 19 日（基本財産額の変更に伴う定款別表の改正）に行われた。

② 理事会

第 1 回 平成 24 年 11 月 5 日（月）

第 2 回 平成 24 年 12 月 6 日（木）

第 3 回 平成 25 年 5 月 20 日（月）

第 4 回 平成 25 年 9 月 6 日（金）

③ その他

評議員選定委員会 平成 24 年 11 月 16 日（金）

事業選定委員会 平成 25 年 4 月 24 日（水）

(6) 管理費

本年度より財団の管理費に充当するための寄付を募ることとなり、2,252,000 円の寄付があり、この範囲内で財団の管理費を賄った。

II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定又は決議の内容の概要

該当するものはない。

新たなクラブ標準規約（Bylaws）書式・細則（Policies）

1. 国際キワニス本部（以下「本部」という。）では、一昨年 of 国際規約改正に伴い、クラブ標準規約の書式と細則を大幅に改正し、全てのクラブに対して新たな書式による規約および細則（以下「新規約・細則」という。）を 2014年9月30日までにそれぞれのクラブ総会で採択し、本部に送付しその承認を得るよう求めている。
2. 新規約・細則の特徴は次の通りである。
 - 各国の法令遵守を優先させる方針を打ち出した。
 - 規制を大幅に緩和している。
 - 会員の種別（正会員、名誉会員等）、委員会の構成（名称、所掌等）等をクラブの自主性に任せる面が増えた。
3. 新規約のポイント
 - 第1章 名称と目的
 - 第2章 会員 会員の種別に関する規定は削除、細則でクラブが決める。
 - 第3章 運営 一定条件の下、電話会議等による例会を許容
クラブの決議に必要な定足数は3分の1、採決は出席し投票した会員の過半数が原則
 - 第4章 役員および理事
会長、次期会長、副会長、事務局長と理事の兼務禁止（従来通り）
 - 第5章 選挙および空席の補充
 - 第6章 役員会
 - 第7章 規律
詳細な手続の定めがあり、除籍を含む会員の処分は、役員会の所掌となっている。但し、総会への不服申立はできる。
 - 第8章 資金と会計
財務記録は、細則の定めにより、公認会計士事務所または会計検討委員会（standing financial committee）による検査を受ける。
 - 第9章 法令等の適用
 - 第10章 規約と細則
「クラブ設立日から1年以内に法人化または登録が必要」との規定は、日

本では適用除外を申請中
クラブ規約は、規約標準書に準拠した場合のみ承認。改正には出席し投票した者の
3分の2が必要で、本部による承認がない限り有効でない。

4. 細則の構成

細則は、A～Fが必須で、G～Mは採用するか否かは自由。双方とも複数項目から
いずれかを選択するか、数その他の所要次項を記入する仕組みになっている。

(1) 必須細則 本部への申請、承認の対象、採択は3分の2

A. クラブ年会費および入会金

通貨、年会費額、新会員の入会金額（いずれも本部および地区への納入額
を含む。）その他を記入する。入会金は階級別または月割りなどがある場
合「月額10ドルから40ドル」等と書くことができる。なお、サービス・
リーダーシップ・プログラムの卒業生には入会后2年間は本部の年会費は
請求できない。

B. 良好な会員

良好でない会員の判断基準は、次の通りとする。

1. 年会費等の滞納月数または滞納額の金額を記入
2. クラブが定めるその他の条件があれば記入

C. 役員および理事

1. 副会長を設ける場合その人数を記入。副会長がない場合は0と記入。
2. 理事の数を記入（3名以上で上限無）
3. 会長が空席となったときの継承者を次期会長、前会長、副会長から選
択

D. 役員および理事の任期

1. 会長、次期会長、会長および事務局長（任命制のとき）1年または2
年を選択
2. 事務局長の任期1年または2年を選択
3. 財務担当の任期1年または2年を選択
4. 副会長の任期1年または2年を選択
1. 理事の任期1年、2年または3年を選択 2年または3年を選択する
場合は2分の1または3分の1の人数を毎年選挙

E. 役員および理事の選挙手順

1. 事務局長は役員会の承認を得て会長の任命か会員による選挙を選択
- 2,3 投票用紙等および推薦または総会場からの選出
4. 累積投票の禁止。不在者投票および委任状を許可するか否か選択
5. 当選者の決定方法

6. 電子投票を採用できる。
- 7,8 事務局長の報告義務、「次期会長」等の呼称
9. 追加事項があれば記述

F. 年次会計の検討

次のうち1つを選択

1. 有資格の公認会計士事務所を雇う。
2. 常設会計検討委員会を設置する。委員の選出はクラブ役員会か総会に依るかを選択。

(2) 任意細則 本部への申請、承認不要

G. クラブ例会情報

1. 例会開催の回数を選択。毎週、月2回または月1回
例：毎週木曜日午前11:30、または第1、第3水曜日の午前7:30等
2. クラブサテライト（あれば）の例会について1と同様に記述
複数個のクラブ・サテライトがある場合には、それぞれについて記入

H. 追加職務（該当する場合のみ）

規約4.2で定めた以外の職務があれば、会長、次期会長、前会長、事務局長、財務担当、副会長、理事ごとに記述

I. 常任委員会（該当する場合のみ）

クラブの常任委員会の名称、職務を列挙する。必須細則Fで会計検討委員会の設置を選択した場合、これはここには書かなくてよい。

J. クラブにおけるその他の役職（該当する場合のみ）

規約で定める役員以外に国内法令に基づくその他の役職があれば、明記する。ない場合は、省略する。

（筆者注）「監事」が該当するのではないか。

K. 特別投票条件

規約や必須細則に定めのない事項で、投票を必要とする場合、または規約や必須細則で定める以上の投票条件を希望する場合に記述する。

その場合、業務種別名称、事前公示日数を記入して、対象となる投票が役員会かクラブ総会なのか、および決議は過半数か3分の2かを選択する。

L. 特別会員の種類

クラブで特別な種別の会員を設けるときに、特別会員のタイプ（名前）と規準及び特典を記入する。無い場合は省略する。

（筆者注）本部および地区への会費等の納入対象者の場合は、本部の立場からは正会員である。休会会員、家族会員、ユース会員、クラブ・サテライト会員等会費の種別毎に記入

M. 追加事項

以上の他に本部の諸規定、国内法令に違反せずクラブ運営を戦略的に支援し、長期にわたって継続できる追加事項を、規約 10.5 に従った手続で設定できる。

5. 今後の手続

(1) 各クラブ（法人である東京クラブを除く。）

ア. 規約は修正できないのでそのまま、必須細則は、所要の事項を記入または選択肢からいずれかを選び、クラブ総会の承認を得る。

イ. 英文の規約及び必須細則に会長または事務局長が署名し、本部に送付する。
（筆者注）これについては、必要な場合地区事務局にご相談ください。

ウ. 本部より承認通知が来て、手続は完了する。

(2) 東京クラブ

ア. 規約及び必須細則該当事項を英訳して、会長または事務局長が署名し、本部に送付する。

イ. 本部とは質疑応答が予想されるが、これらを終えて承認通知があれば、手続が完了する。

(3) その他

ア. 期限 2014年9月30日

イ. 英訳および申請手続については、適宜地区事務局にご相談ください。

以上

2013 年 10 月 25 日

国際理事選挙のためのタスク・フォース・チームの設置について

国際キワニス日本地区
ガバナー 小川恵三

来る 2014 年 7 月 17 日の ASPAC 枠国際理事選挙に立候補予定の北里光司郎氏を支援する
時限的なタスク・フォース・チームを下記のとおり速やかに立ち上げることといたします。

記

1. 目的：候補者当選に向けての各種支援・応援
2. メンバー：小川現ガバナー、堀井次期ガバナー、藤原副ガバナー、石原事務総長、
吉田前事務総長、佐藤隆國元事務総長、古屋広報委員長
アドバイザー：歴代ガバナー
3. 具体的な活動：
 - ① 行程表の作成
 - ② 支援・応援活動
 - 推薦状の作成
 - 選挙ビラ等の作成 11/5 ~
 - IT の活用
 - ASPAC 各地区へのロビー活動および候補者による遊説
 - 票読み等情勢分析
 - 選挙当日の応援体制の準備と実施

以上

2013-2014日本地区委員会メンバー一覧

委員長

	成長戦略		マーケティング・広報	子ども最優先	規約	ユース・クラブ推進	青少年教育
	副ガバナー						
東京		松見 芳男	古屋 俊彦	杉田 義朗	伊藤 康成		堀井 紀子
	藤原 武平太	吉田 浩二	増田 好平	大東 健二	佐藤 隆國		杉田 健
名古屋	川村 保憲				齋藤 蒔		
大阪	矢野 隆司			西 亨		竹内 孝	
広島	神出 亨			金田 幸三			
神戸							
仙台	佐藤 嘉昭	小田 忠雄			小田 忠雄		
札幌							
横浜	中村 満					堀 辰雄	由井 美恵子
高松							
福岡				納田 研二		富田 良	
京都			北川 壽一	吉川 了平		井上 要	
千葉		本間 充武					市原 秀一
和歌山							中岡 俊明
新潟							
泉州							
埼玉			種村 哲夫	山田 祐司		清水 志摩子	男澤 望
西宮	安原 裕					小池 和子	
渋谷							
福山							
熊本	早川 典宏			赤坂 英博			
静岡							
金沢							
松江							
鹿児島							
芦屋							多田 玲子
福島							
大分							
千代田							
長崎		大堀 哲	武富 宏邦		武富 宏邦		藤井 潤
小計	8	5	5	8	5	6	8
	13						
総合計	45						

2013-2014 カレンダー（会議・手続関係）



2013/10/19現在

	日本地区		キワニス日本財団 (KJF)		国際キワニス	
10月	17 25	長崎クラブ設立1周年 第1回日本地区役員会 (法曹会館)			1-6 30-11/2	KI役員会 KIF役員会
11月	15	全国キワニス会員 職業別名簿発行	5 25	第1回KJF理事会 (商工会館) 第1回KJF評議員会 (法曹会館)	6-9	次期ガバナー研修会議 (インディアナポリス)
12月						
1月					22-26	KI役員会
2月					13-16 27-28	KIF役員会 ASPAC研修会
3月	1	キワニスジャパン発行			1	ASPAC役員会 (クアラルンプール)
4月	9-12 9-15 10 11 15	台湾地区役員来日 国際会長公式訪問 横浜クラブ設立40周年 東京クラブ設立50周年 次期副ガバナー名報告		KJF事業選定委員会	5 ? 23-27 30 30	キワニス・ワン・デー ASPAC研修会 KI役員会 KI年次総会代議員報告 次期副ガバナー名報告
5月	16	第2回日本地区役員会 (法曹会館)	19	第2回KJF理事会	31	Gov-elect候補 同意書提出
6月					1 15	クラブ・イレクション 地区委員長報告
7月					16 17-20 16~19	KI/KIF役員会 国際東京・千葉大会
8月		地区総会代議員報告				
9月	5	第3回日本地区役員会 日本地区年次総会 泉州大会	5	第3回KJF理事会 (泉州)		

『一村一品活動』

子ども達への奉仕活動を考える上で、キワニスドールやオレンジリボン等の全国共通の活動はとても意義ある取り組みです。そしてまた各クラブにおけるご当地色の豊かな「一村一品」活動もキワニスの成長戦略（CFG）にとって、ローカルゆえの強みを持つ重要な YCPO 活動なのです。先の新潟大会でも一村一品活動のとらえ方については例を上げて説明させていただきましたので一部重複いたしますが、6 件の活動例をお示しし、本活動の意図するところをご理解いただきたいと思いますと考えております。

1. 名古屋の「里親フォーラムあいち」は、児童虐待等で親元を離れた児童を里子として養育されている里親に対する支援活動です。
2. 「仙台キワニスクラブ子ども基金」は、日本はもとより世界中のキワニアンから寄せられた義援金や寄付を基金とした宮城ビッキの会とのコラボレーションです。
3. 高松の「少年ボランティア発表会」は、教育委員会・学校・キワニスが一体となった奉仕活動です。キワニアンが朝のあいさつ運動、清掃活動、学習発表会等にも参加し、ボランティア発表会（今年で 12 回目）を行います。
4. 埼玉の「子ども作文コンクール」は、市内小学 5～6 年生から作文を募集し入選作品を表彰するものです。スパウスプロジェクトの子どもの絵の募集にさいしても、大きな力になって頂けそうな活動ですね。
5. 熊本の「ちびっこ大使認証式」は、幼稚園年長児を対象に、「大使」に任命し K マークを贈呈します。園児には歌や演奏を例会で披露してもらい、合わせて将来のキワニスへの関わりも期待します。また保護者の方々にはキワニスの PR 活動も参加していただく一石二鳥の活動です。
6. 横浜の「マタニティーコンサート」は妊婦の為の音楽会です。来年 4 月には東京クラブの 50 周年式典に列席される国際キワニス会長グンター・ガッサーご夫妻も、横浜の誇る一村一品活動にご出席くださる事になっています。

これは！と思える活動ばかりですがいかがでしょうか。懇親会の席等で皆様ぜひお互いに情報交換をしてください。そしてそのような意見交換の中から生まれた貴重なアイデアを参考にいただき、伝統あるクラブにあっては、さらなる新規な活動に挑戦頂くか、旧来の一村一品活動に新たな息吹を吹き込むようお願いいたします。そして未だ一村一品活動が不十分なクラブにあっては是非先輩クラブに習い、ご当地のニーズにあった活動を開始し、ご自慢の YCPO 活動を確立していただきたいと思いますと思っています。よろしくようお願いいたします。